

高校生と学ぶ地方創生

本年9月に能勢町と能勢分校の生徒はドイツ・ブロリン市を訪問し、シュタットベルケなどの実態調査を行います。

視察に先がけ、高校生、町民の皆さんと一緒に、能勢町の持続可能なまちづくりを考えます。

かつて人々は、厳しい気候風土の中で、里山の自然と上手につき合いながら暮らし、そこで得られた知恵を代々伝えてきました。里には、モノやエネルギーが循環する、自立的で持続可能な社会が形成されていました。

そして、里地里山は水源涵養や生物多様性の保全、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなど、私たちの暮らしにかけがえのない恵みを与えています。

例えば、国内の森林の機能の経済価値は年間70兆円とも言われています。能勢町の森林面積に置き換えると約200億円の価値を有していると考えられます。

まさに地域の宝の山、こうした価値を環境・経済・地域の統合的発展に生かすことができないか。地域の中で、資源が循環する持続可能な暮らしのモデルとは・・・。

環境先進国のドイツのシュタットベルケのモデルを中心に、これからの地域づくりを学びます。

本講座は、能勢町と能勢高校・豊中高校能勢分校の連携事業として開催します。

どなたでもご参加できますのでぜひお越しください（申込みは不要です）。

(会場) 大阪府立能勢高等学校・豊中高等学校能勢分校

【問い合わせ】

能勢町総務課政策推進係 担当：矢立 電話072-734-3036

能勢高等学校・豊中高等学校能勢分校 担当：内田 電話072-737-0666

講座スケジュール(予定)

日時	テーマ/講師
5月22日(水) 15:30~17:00	テーマ：パリスタから見た ドイツ人の環境問題への取組 講師：中村 靖彦 (略歴) 豊能町出身。現在はドイツに在住。2016年にはパリスタにおいて最高峰の上級・プロフェッショナルの資格を取得。ドイツ全国でコーヒーについてのワークショップやセミナーを展開。また、DJとして、現地でのクラブシーンでも注目を浴びるなど、その活躍は多岐に渡る。
6月5日(水) 15:30~17:00	テーマ：掛川市における日本版シュタットベルケの取組 講師：静岡県掛川市副市長 久保田 崇氏 (略歴) 2011年8月、内閣府から出向し震災直後に陸前高田市副市長を4年間務める。2016年から立命館大学教授を務め、本年4月から掛川市副市長に就任。同市はシュタットベルケをモデルに2020年に新電力会社の設立を表明。
6月11日(火) 13:10~15:00	テーマ：能勢町にとってのSDGsとは 講師：(株)イー・コンサル 代表取締役 榎原 友樹氏 (略歴) 環境省環境研究総合推進費戦略課題 S-11「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」に参画し、「SDGs達成に向けた日本への処方箋」をとりまとめ。環境省地域再省蓄エネサービスイノベーション促進委員会委員。
7月2日(火) 13:10~15:00	テーマ：ドイツ視察に向けて シュタットベルケの取組 講師：環境省大臣官房環境計画課長 川又 孝太郎氏 (略歴) 2015年から3年間にわたって在ドイツ連邦共和国日本国大使館参事官として日独環境省間の低炭素技術協力の共同声明で合意された日独自体連携プロジェクトなどを担当。